

## 沖縄県における「教材開発プロジェクト」

沖縄県立総合教育センター長期研修  
川畑三矢・神里太・田里光夫・城間篤・内間秀樹

### 発表の概要

教材プロジェクトは、ITを活用した分かる授業を支援するための教材作成をめざし、各学年、教科毎にカリキュラム分析を行い、小・中・高等学校及び特殊教育諸学校別に全教科において使用可能なデジタル教材を体系的に開発し、有効利用を図ることを目的として進めている。

### 主な開発教材

#### 1. 高等学校（地歴・公民）

「沖縄県教材作成支援ソフト」で作成した教材

特徴：学習者一人ひとりの理解状況、クラス全体の教育目標の達成度などが先生用コンピュータで即座に確認できる。  
また、学習者情報から個人およびクラス全体の理解状態の分析や評価も行える。

#### 2. 高等学校（保健体育）

「心肺蘇生法や着衣泳法等の実習動画」「沖縄県郷土の特色ある実技動画」教材

特徴：郷土文化を大切にする観点からも授業や学校行事、総合学習等で使用できる教材として「琉球舞踊」や「エイサー」「空手の形」を積極的に取り入れやすいように動画として作成した。  
「心肺蘇生法」は手技手法の確実性の問われる教材であり統一した提示教材が必要と考え乳児から大人までの正確でわかりやすい教材を作成した。  
「着衣泳法」は速く泳ぐ事を中心に教える授業への反省や、「安全水泳の観点」から模範講習を編集作成した。

#### 3. 高等学校（生物）

「沖縄県教材作成支援ソフトで作成した遺伝分野と植物の反応」問題

特徴：生物分野を教科書の復習が出来るよう、センター試験の過去問題を沖縄県版教材作成支援ソフトにてWEB-CAI化した。また、基本的な内容の学習が出来るよう、教科書の内容についてWEB-CAI教材化した。また、地域の生物の教材化として、沖縄のキノコの紹介、校庭の植物の紹介なども開発している。

#### 4. 養護学校（肢体不自由）

教材の内容：「文字版の紹介」、「視知覚教材の紹介」、「入力機器の工夫」